



パスコード:09007 世代:1

入院中									退院日	退院後	
項目	入院	手術前日までに進行	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	1日目	2・3日目	4日目	1週目～	2週目～	3週目	他院 当院: / :
達成目標	手術まで体調のコントロールができる。	手術前後の流れについて理解できる。 必要物品が準備できる。 脱臼について理解できる。	痛みなく過ごせる。	痛み増強なく過ごすことができる。 床ずれが起きない。 合併症が起こらない。	痛みの増強なく過ごすことができる。 車椅子移乗・歩行器歩行・杖歩行の方法がわかる。 見守りのもと行う事が出来る。 合併症が起こらない。 脱臼について理解できる。		車椅子移乗・歩行器歩行・杖歩行の方法がわかる。 見守りのもと行う事が出来る。 合併症が起こらない。	痛みの増強なく過ごすことができる。 合併症が起こらない。 見守りのもと安全にシャワー浴を行うことができる。 シャワー浴の方法がわかる。 脱臼部位が理解でき、日常生活動作を安全に行うことができる。 <b>退院後の生活のイメージすることができる。</b>	痛みの増強なく過ごすことができる。 歩行器歩行、1本杖歩行をすることができる。 見守りのもと安全に入浴を行う事が出来る。 浴槽への出入りの方法がわかる。 脱臼部位が理解でき、日常生活動作を安全に行うことができる。 <b>退院後の生活準備をはじめることができる。</b>	退院できる。 退院先・・・ 自宅 病院( ) その他( ) 施設( )	療養生活が継続できる。 脱臼を起こしていない。 歩行時距離が延長できている。
治療・薬剤(点滴・内服)・処置・リハビリ	持参薬の確認をさせて頂きます。	午前中の手術であれば、前々日、前日に浣腸を行います。午後手術であれば、手術前に下剤内服をして頂きます。足の爪切りをしていただき手術翌日に内服するお薬をケースにセットします。	午後手術であれば、午前中に浣腸を行います。指示された薬だけを少量の水で飲んで下さい。	食事がとれないため点滴を続けます。抗生剤の点滴を行います。(3日間)	血管が抜けます。朝、看護師がお薬のケースを持ってきます。そこからお薬を内服して下さい。痛み止めの内服薬がはじまります。		抗生剤が点滴から内服に変わります。	ガーゼ交換(適宜・必要時)を行います。			
検査			手術後、採血を行います	採血が適宜あります。	採血が適宜あります。	採血が適宜あります。	採血が適宜あります。	採血が適宜あります。レントゲン撮影が適宜あります。			採血が適宜あります。レントゲン撮影が適宜あります。
安静度	痛みが強くない程度に移動して下さい。痛い場合は歩行器などあります。			ベッド上安静です。(頭元を30度上げられます)横向きになる時は、足の間に大きな枕を挟みませ。看護師がお手伝いさせていただきます。	頭元を90度上げられます。ベッドに腰をかけたリ車椅子に乗る事ができます。歩行器で歩くことができます。リハビリが開始されます。			足の台をはずします。			
食事	内科的な病気のある方は医師の指示に伴い治療食です。間食は控えて下さい。		当日朝から絶食です。水分は主治医の指示に従ってください。	水分は腸の働きを確認してから始めます。	朝から食事が始まります。						
清潔	入浴して下さい。(月～日)	入浴して下さい。		体拭き・洗髪・足浴を適宜させて頂きます。洗面は朝・夕にタオルとうがい水をお渡しします。				医師による傷の確認後、シャワー浴が開始されます。看護師の介助のもとでシャワー浴をしていただきます。お風呂の動作に慣れるまでは介助させていただきます。			
排泄			手術中に尿管が入ります。排便は便器で行います	尿管を抜きます。抜いた後は車椅子又は歩行器でトイレに行きます。							
患者様及びご家族への説明	更生医療を受ける方は、手術までに書類を提出して下さい。身体障害者手帳をお持ちで無い方は、書類を提出して下さい。	オムツ1枚またはT字帯とバスタオルを準備して下さい。手術についてわからないことがあれば何でも聞いて下さい。	手術予定時間の30分もしくは60分前に家族の方は来棟して下さい。	傷の痛みが出る可能性があります。痛みがあれば、我慢せずに申し出て下さい。	便秘になりやすいため、水分をしっかりとりましょう。			オーバートールを返却します。洗面は自分で行います。歩行できれば、ストッキングが除去できます。 <b>退院に向けての準備を相談します。必要に応じて、介護サービスの利用など相談します。</b>	診断書など必要であれば、早めにお申し出ください。 <b>退院後の生活環境を相談します。</b> <b>必要に応じて在宅サービスの利用など相談します。</b>	<b>退院後の療養生活上の留意点を説明します。気を付けて生活しましょう。</b> 脱臼防止のために、危険肢位をとらないように注意しましょう。 椅子の高さは、cm以上になるように気をつけましょう。 座る時は、お尻が沈み込まないように、座面の固さを気を付けましょう。 入浴時・・・浴槽には手術した足から入るようにしましょう。	

この予定表は、病状にあわせて、その都度変更する場合がありますので、ご了承下さい。